

上岩橋の獅子舞

伝承者 上岩橋獅子舞保存会

町無形民俗文化財に指定されています。詳細は不詳ですが、江戸時代中期頃から村の行事として伝承されていたようです。大正年中一時中絶のこともありました。昭和十年に復活されて以後は、村の行事として青年たちによって演舞が継続されています。

五穀豊穰を祈願するこの行事を春祈禱あるいは豊楽と称して、駒形神社、菊賀神社、大鷲神社及び上岩橋区長宅で演舞されます。

平成十一年までは毎年四月三日（元神武天皇祭）に行われていましたが、現在は、四月第一日曜日の午前九時から午後三時頃まで、区長宅、駒形神社、菊賀神社、大鷲神社の順番で獅子舞が演舞されます。江戸時代から、五穀豊穰を祈願して行われており、「とおし」「れいとろ」「白羽」「弓くぐり」「一匹舞」の演目を、笛・太鼓の囃子に合わせて演じます。